



転写プレス機

一般型

錦屋旗店株式会社

デジタル出力機を用いたドライウェア製品の開発及び顧客開拓

顧客ニーズが多様化している中、従来の商品だけでなく新たな商品を開発する必要があると判断。そこで、新規商品制作のために新型機を導入し受注拡大を図る。

〈 事業のきっかけ 〉 OPPORTUNITY

当社は、創業107年を迎える老舗印染店として、旗やのぼり、法被（はっぴ）等の制作を手掛けてきた。

これまで、行事やイベント等で大漁旗や国旗、優勝旗、横断幕、ちょうちん等を提供し、沖縄の歴史の節目を彩ってきた。

しかし、染めの技術が紅型のような染色方法からシルクスクリーンへと変遷するように、顧客ニーズも移り変わり、近年の景観条例等の影響もあって、のぼりや旗が使用される場面が減少してきた。

そこで、従来の商品に代わる新たなアイテムとしてかりゆしウェアやTシャツ等のアパレル製品作りに取り組むこととなった。それに伴いアパレルに特化した8色機プリンターと転写プレス機を導入するに至った。

〈 事業の取り組み 〉 PROGRESS

長年培ってきた染色技術を踏まえ、かりゆしウェアやTシャツといったアパレル製品を制作するにあたり、専門部門を立ち上げ、アパレルに特化した8色機プリンターと転写プレス機を導入。

従来のプリンターは4色だったが、8色のプリンターを使用することで色の再現性の幅が広がった。また、衣類全面にプリントできるため、デザインの可能性も広げることができた。その後も試行錯誤を繰り返し、既製品Tシャツへの全面プリント技術のスピードと品質は向上している。今後、型紙を製作するためのレーザー加工機を近く導入する予定もあり、さらなる品質向上とスピードアップを図っていく。

オイル式のプレス機に至っては、一定の温度でむらなくプレスすることが可能となったことに加え、温度管理も容易になり作業効率が向上した。

COMPANY MIND

熱血起業人

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

コスト削減と受注拡大が課題

オイル式転写プレス機は、温度が上がりにくいという特性から適温になるまで今までの5倍の時間を要するため、電気消費量が高くなりコスト面で課題が残る。

そこで、今後はいかに効率よく機械を使い、コストを下げていくかを試行錯誤し追求していく。

沖縄の市場としては、かりゆしウェアを着る機会が多く、スポーツも盛んなためオリジナルデザインにこだわったウェアを着用したいというニーズがあるので、そういった要望にピンポイントで対応して受注を拡大していきたい。

錦屋旗店株式会社
代表取締役 當真 一也



8色機プリンター



全面にプリントしたTシャツ

〈 事業の成果 〉 ACHIEVEMENT

ものづくり補助事業で新型設備を導入したことにより、従来の製品より精細な表現ができるようになり、かつ小ロットでオリジナルデザインのドライウェア製品を作れるようになった。これまで、Tシャツ等にシルクスクリーンを用いて限られた範囲に1枚ずつデザインを施していたが、8色機プリンターでは全面にプリントができる。それにより、インパクトがあり色鮮やかなデザインが可能となった。

オイル式転写プレス機については、オイルを使用することで温度が上がりにくく下がりにくいという特徴がある。したがって、温度の急激な変化が少なく、大量生産時でも安定した製品作りができるため大きな可能性を感じている。当初、計画していたアパレル製品製作は、オリジナルドライウェアの開発に成功したことで、目標を達成することができたといえる。また、現段階ではまだ売上に結びついていないが、イベント出店においてユニフォーム店より具体的な商談を受けた。さらなるスピードアップと失敗率を減少させることで顧客の要望に見合った価格を実現していきたい。

COMPANY OVERVIEW

代表者名	代表取締役 當真 一也
設立年	明治44年
所在地	本社 〒900-0012 沖縄県那覇市泊2-2-2 店舗 〒900-0012 沖縄県那覇市泊2-5-15
T E L	098-861-1222
F A X	098-861-5233
ホームページ	http://www.e-hataya.co.jp/
資本金	500万円
従業員数	13人
業種	その他の製造業

